

第6回総合体育館基本構想検討委員会 議事概要

1 開催日時・場所

令和3年11月26日（金）午前9時30分～正午
市町村自治会館

2 会次第

- (1) 開 会
- (2) 議 事
 - ① 整備候補地について
 - ② その他
- (3) 閉 会

3 議事概要

(1) 整備候補地について

- ・ 評価基準に基づき5か所の整備候補地
(鴨池ニュータウン9・10号街区, 県農業試験場跡地,
住吉町15番街区, ドルフィンポート跡地, 市脇田処理場等跡地)
を評価した結果について, 客観的・専門的に検討
- ・ その結果, ドルフィンポート跡地が最も優位であるが, 他の事業との関連も考慮し, 住吉町15番街区を加えた2か所を一体のエリアとして, 今後, レイアウトなど, 基本構想(案)の作成に向けた検討を進めることとされた。

(2) その他

- ・ 事務局から, 基本構想に盛り込んでほしい事柄等について, 今後, 広く県民から意見を募集し, 結果を検討委員会にお示ししたい旨説明

4 委員の主な意見(要旨)

(ドルフィンポート跡地が望ましいとの意見)

- ドルフィンポート跡地は, 交通利便性や離島とのアクセスが良く, 駐車場も確保できる。中心市街地に近く経済波及効果も期待できる。このため落とす理由がない。

- 財政が厳しい中で持続可能な施設を作る必要があり、スポーツ振興と多目的利用を合体させた複合的施設をドルフィンポート跡地につくることが地域活性化につながり、賑わいの創出・まちづくりに貢献できる。
- 屋内競技団体もドルフィンポート跡地に作ってほしいという意見である。
- 大会の運営・効率化、離島生徒への配慮、国際大会・プロリーグ等の誘致の観点から、宿泊施設と競技会場とのアクセスのしやすさが問題であり、これらを考慮するとドルフィンポート跡地がふさわしいと思う。
- 評価結果をもとに5つの候補地から決めて欲しい。障害者団体が一番気にする交通の便は、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区が高い点数。その中で、評価結果の点数が一番高いドルフィンポート跡地につくって欲しい。
- ドルフィンポート跡地は、アスリートファーストの視点から交通の便が良いこと、周辺の宿泊施設数が多いことが最大のポイント。
- ドルフィンポート跡地は、鹿児島県の将来50年を見越した上で、回遊性の高いエリアに集客装置としての総合体育館を設置することで、商業との連携からの経済波及効果も期待できる。
コンベンション・展示機能を備える施設との連動は、施設設計のコンペの段階で審査の重要項目に入れておくことで、建築家・設計事務所の知恵を引き出すことができるのではないか。
- ドルフィンポート跡地は、本港区のランドデザインとの整合についても相容れないものではない。この委員会は体育館の委員会であり、ランドデザインとの整合をどうするかという議論をする場ではなく、周辺のまちづくりについては、設計・施工する段階で調整してもらえれば。
- ドルフィンポート跡地は面積が広く、ウォーターフロントパークもあるので、例えばスケボーができるといった子供達が動いているようなイメージが沸き、様々な人達が色々な活動が出来て、スポーツを身近に感じてもらえるという気がした。その点で点数どおり魅力的。

(整備候補地は本港区エリアで検討すべきとする御意見)

- ドルフィンポート跡地を主軸に考えるということについて異論はないが、未来軸の中で、同敷地での活用が議論されているコンベンションやサッカースタジアムと一体的な開発を考えざるを得ない。

そのため、駐車場の整備を含めドルフィンポート跡地を主軸に住吉町15番街区も含めて一体的に検討してはどうか。

- ドルフィンポート跡地を体育館だけが独り占めしないように、今後、本港区エリア全体のゾーンとして、まちづくりを一体的に未来軸を作りながら検討するというテーブルを作り、協議しながら進めていくことが望ましい。

- 住吉町15番街区は、若干狭く、ハザードマップ上での問題があるとはいえ、ドルフィンポート跡地と絡めて街づくりの観点で検討できれば、良いところだと思う。

2つの場所を広い地域としてとらえることは、体育館の方向性に柔軟性を持たせるという意味でも賛成できる。

- (本港区エリアに整備する場合、) ウォーターフロントパークとの一体的な使用も検討していくべきではないかと考える。

(整備候補地としてドルフィンポート跡地は反対とする意見)

- 評価項目のカテゴリーの一つである「アスリートファースト」において、ドルフィンポート跡地が優位となったが、このカテゴリーは、アスリートファーストよりも観光ファーストに偏って設定されている印象。

- ドルフィンポート跡地は桜島や錦江湾の景観を一望できる超一等地。体育館の候補地としても魅力的だが、多くの大規模施設の最適地にもなり得る。最適な活用法は何かという大所高所からの観点を無視して、ここに体育館を作る前提で話を進めて良いとは思えない。早い者勝ちの理論で良いのか。

交流拠点機能の割合3割を堅持するのであれば、住吉町15番街区、割合を下げることも考え得るのであれば、鴨池ニュータウン9・10号街区の2候補地が適当と考える。

- 評価点が高いドルフィンポート跡地については、活用方法として今回の体育館が最もふさわしいのかという点で疑問が残り、反対。
- 一定の広さが確保でき、スポーツ施設との連携が期待できることから、鴨池ニュータウン9・10号街区が良い。
- 閉ざされたこれまでの体育館が、景観の良い住吉町15番街区やドルフィンポート跡地に建築されるということであれば、賛成はしかねる。

(その他)

- 整備地を決め、本委員会のまとめたコンセプトを効果的・効率的にする総合体育館のアイデアを県民から募ることが大事。県民参加型の施設づくりにより、県民の期待に応える施設が実現できる。
- 住吉町15番街区やドルフィンポート跡地のような眺望の良いところに建つことになれば、市街地からの眺望や人の流れを遮らないような工夫がなされていることを十分に県民に説明することが重要。
- 整備候補地としての判断は、ドルフィンポート跡地の持つ景観等の価値を重要視するか、住吉町15番街区の敷地の狭さ等の問題を補うコストを重要視するか。
- ドルフィンポート跡地に決めた場合、附帯条件がつく話。その場所の価値があるので、景観などの問題に配慮する設定じゃないと受け入れられない。そこに箱物だけの閉ざされた施設を作ってしまうと、望むところではない。
- 複合的な機能を持たせる体育館は構想としては素晴らしいが、従来型の体育館を建設するよりも建設コストや維持管理のコストが高くなると想定される。そのコストを賄う収益を上げられるのか懸念がある。
- ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区で建てるときのイメージが変わってくるのではないか。
- 10年間ずっと議論してきており、現体育館の老朽化を踏まえるとまったなしというところであり、今回本委員会としてピン留めをしないとこの後の手続きが何も進まない。

- 本委員会は体育館の委員会ということですので、できるところまで絞り込んだ上で他のプロジェクトとのリンケージを速やかに図っていくべきだと思う。
- 今後検討するレイアウトについては、総合体育館と一体となってまちづくりに寄与する建物が立地できるよう、将来の増築余地を盛り込んでいただきたい。
- 県産材を使用した木質化の検討により鹿児島らしさに配慮していくことは、重要である。